

厚生労働大臣 殿

大分大学医学部附属病院長
古林秀見

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	34人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第12）
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第13）
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	196人	190.8人	386.8人	看護業務補助	5人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	8人	13人	理学療法士	6人	臨床検査技師	33人
薬剤師	23人	3人	24.9人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1人	視能訓練士	2人	臨床検査	その他
助産師	25人	0人	25人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	447人	52人	484.1人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	1人	事務職員	105人
管理栄養士	5人	0人	5人	診療放射線技師	22人	その他の職員	47人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	500.5人	10.1人	510.6人
1日当たりの平均外来患者数	859.2人	37.8人	897.0人
1日当たりの平均調剤数		1,481.6剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」の欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

1 先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎頬面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
C Tガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
緊強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
S D I法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
H D R A法によるC D - D S T法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のH P V-D N A診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	1人
悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31 燐-磁気共鳴スペクトロscopyとMRI画像による糖尿病性足病変の非侵襲診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	5人
重症B C G副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
自家液体窒素凍結骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・無	2人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診療と治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
H L A 抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤギレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚纖維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一纖毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテラメイトのヘリコバクター・ピロ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジネーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による間接温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発言する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
内視鏡下頸部両性腫瘍摘出術	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	25人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対する muscle afferent block (M A B) 治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法	有・無	人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い 患者数	疾 患 名	取扱い 患者数
・ベーチェット病	48人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	28人
・多発性硬化症	33人	・ウェゲナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	40人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	17人
・全身性エリテマトーデス	160人	・多系統萎縮症	19人
・スモン	1人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	11人	・膿疱性乾癬	3人
・サルコイドーシス	132人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	11人	・原発性胆汁性肝硬変	20人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	72人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	22人	・特発性大腿骨頭壊死症	32人
・結節性動脈周囲炎	17人	・混合性結合組織病	24人
・潰瘍性大腸炎	56人	・原発性免疫不全症候群	0人
・大動脈炎症候群	11人	・特発性間質性肺炎	29人
・ビュルガ一病	4人	・網膜色素変性症	13人
・天疱瘡	7人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	21人	・原発性肺高血圧症	0人
・クローン病	25人	・神経纖維腫症	5人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	14人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	39人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリ-[Fabry]病)含む	1人
・後縫韌帶骨化症	18人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	4人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する 部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨 床検査部門と開催した症例検討会 の開催頻度	平均して毎月1回
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 20例 剖検率 12.3%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
着床期子宮内膜におけるサイトカインの発現とその役割についての研究	奈須 家栄	産科婦人科	千円 500 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
活性酸素種を介した糖代謝による心筋細胞死の制御	米持 英俊	内科	700 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌に対する腹腔鏡手術の有用性と検討—開腹手術との比較—	猪股 雅史	外科	700 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
閉塞性脳血管障害に対する血管新生促進療法	古林 秀則	脳神経外科	900 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
神経活動依存的 BDNF 誘導による損傷神経回路の再構成と機能回復	藤木 稔	脳神経外科	600 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
外尿道括約筋細胞の起源同定とその増殖分化制御機構の解明	三股 浩光	泌尿器科	700 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
更年期女性における微小血管性狭心症の病態解明と漢方医学的アプローチ	中川 幹子	内科	800 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
緑膿菌 <i>Twitching Motility</i> の遺伝子機能阻害—RNAiによる治療	門田 淳一	内科	1,500 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
GNE 遺伝子ノックダウン細胞を用いた遠位型ミオパチーの病態解析と治療法の開発	熊本 俊秀	内科	1,200 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
パニック障害の病態解明と臨床応用	梶吉條太郎	精神科神経科	1,600 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
制限増殖型レオウイルスを利用した新しいリンパ節転移診断法の開発	衛藤 剛	外科	800 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
人工呼吸器誘発肺障害と生体防御反応に対する異常体温(発熱・低体温)の影響	野口 隆之	麻酔科	1,000 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
エピジェネティックスにより制御された婦人科癌の新しい癌抑制遺伝子の発見	高井 教行	産科婦人科	700 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
オピオイド鎮痛薬関連遺伝子多型情報の個別化疼痛緩和治療への有用性	大橋 京一	臨床薬理センター	2,300 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会
過栄養性脂肪肝の発症・進展に関する新規生理活性物質の単離	加隈 哲也	内科	2,300 <small>(補 委)</small>	独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
視床下部ヒスタミンH ₁ 受容体を介す生体リズムとエネルギー代謝調節のクロストーク	吉松 博信	内科	2,900	補委 独立行政法人 日本学術振興会
エピプラキンの <i>in vivo</i> 複合体の同定とその機能	藤原 作平	皮膚科	2,800	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新しい表皮接着因子デルマトポンチンの機能解明と治療応用方法の開発	岡本 修	皮膚科	2,300	補委 独立行政法人 日本学術振興会
小型斜流式血液ポンプを用いた循環補助装置の研究	穴井 博文	心臓血管外科	2,100	補委 独立行政法人 日本学術振興会
低酸素状態における脳腫瘍細胞と血管内皮前駆細胞間のクロストーク解析と分子標的治療	阿部 龍也	脳神経外科	1,500	補委 独立行政法人 日本学術振興会
骨リモデリングにおけるBMPとビスホスフォネートの協調作用効果の解析	片岡 晶志	整形外科	1,500	補委 独立行政法人 日本学術振興会
上気道粘膜における免疫監視、免疫制御誘導の解明	鈴木 正志	耳鼻咽喉科	1,200	補委 独立行政法人 日本学術振興会
高齢ラットの虚血再灌流性急性腎障害における知覚神経活性化の役割	水谷 明男	麻酔科	1,300	補委 独立行政法人 日本学術振興会
人工呼吸時の気道内圧の差が気道内のMUC (mucin) 2の発現に及ぼす影響	吉良慎一郎	麻酔科	1,100	補委 独立行政法人 日本学術振興会
子宮内膜症細胞におけるサイトカインの発現－子宮内膜症が惹起する免疫異常の解明－	西田 正和	産科婦人科	900	補委 独立行政法人 日本学術振興会
肺線維化におけるthrombospondin-1を新規標的分子とした治療戦略	石井 寛	内科	1,500	補委 独立行政法人 日本学術振興会
海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻における短絡部の検討ならび選択的塞栓術の確立	相良 佳子	放射線科	1,200	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ラット間接血行再建モデルにおける低酸素関連遺伝子による新生血管の誘導	阿南 光洋	脳神経外科	1,700	補委 独立行政法人 日本学術振興会
人工呼吸下での気道内mucinの発現に対する異常体温の影響－高体温 vs 低体温－	長谷川 輝	麻酔科	1,900	補委 独立行政法人 日本学術振興会
エピプラキンと組織再生	後藤 瑞生	皮膚科	630	補委 独立行政法人 日本学術振興会
Innate Immunityを利用した中耳炎予防ワクチンの検討	立山 香織	耳鼻咽喉科	720	補委 独立行政法人 日本学術振興会
エピプラキン分子サイズと結合分子の同定	竹尾 直子	皮膚科	800	補委 独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進行大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する比較研究	北野 正剛	外科	42,000	補 委 厚生労働省
メタボリックシンドromeの保健指導に歯科的な観点を導入することの効果に関する研究	柳澤 繁孝	歯科口腔外科	6,526	補 委 厚生労働省
グローバル早期臨床試験推進のための大 学病院ネットワーク構築の基盤整備事業	大橋 京一	臨床薬理センター	98,168	補 委 厚生労働省

計 3

合計 35

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人からの補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	REGULATORY PEPTIDES 140(1-2) (19年4月 発行)	Involvement of stomach ghrelin and hypothalamic neuropeptides in tumor necrosis factor-alpha-induced hypophagia in mice.	遠藤 美月	内科
2	DIABETES RESEARCH AND CLINICAL PRACTICE 77(2) (19年8月 発行)	Hyperhomocysteinemia is associated with visceral adiposity in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	正木 孝幸	内科
3	DIABETES RESEARCH AND CLINICAL PRACTICE 77(3) (19年9月 発行)	Correlations of urinary albumin excretion and atherosclerosis in Japanese type 2 diabetic patients.	正木 孝幸	内科
4	Endocrinology. 148(6) (19年6月 発行)	Apelin, an APJ Receptor Ligand, Regulates Body Adiposity and Favors the Messenger Ribonucleic Acid Expression of Uncoupling Proteins in Mice.	樋口 恵子	内科
5	Endocrinology. 148(7) (19年7月 発行)	Receptor-mediated suppression of cardiac HSP72 expression by testosterone in male rat heart.	高橋 尚彦	内科
6	European journal of nuclear medicine and molecular imaging 34(8) (19年8月 発行)	Abdominal visceral fat accumulation is associated with the results of (123)I-metiodobenzylguanidine myocardial scintigraphy in type 2 diabetic patients.:.	正木 孝幸	内科
7	Metabolism 56(5) (19年5月 発行)	Predictors for silent cerebral infarction in patients with chronic renal failure undergoing hemodialysis.	正木 孝幸	内科
8	Journal of cardiovascular electrophysiology 18(5) (19年5月 発行)	Pilsicainide-induced ventricular tachycardia originating from right ventricular outflow tract.	高橋 尚彦	内科
9	EXPERIMENTAL BIOLOGY AND MEDICINE 232(5) (19年5月 発行)	TNF-alpha induces hepatic steatosis in mice by enhancing gene expression of sterol regulatory element binding protein-1c (SREBP-1c).	遠藤 美月	内科
10	Metabolism 56(7) (19年7月 発行)	Hypoadiponectinemia in type 2 diabetes mellitus in men is associated with sympathetic overactivity as evaluated by cardiac 123I-metiodobenzylguanidine scintigraphy.	高橋 尚彦	内科
11	Journal of Arrhythmia 23(3) (19年12月 発行)	Manifestation of ST-segment elevation in right precordial leads during ischemia at a right ventricular outflow tract area in a patient with Brugada syndrome.	高橋 尚彦	内科
12	AMERICAN JOURNAL OF PHYSIOLOGY-HEART AND CIRCULATORY PHYSIOLOGY 293(3) (19年9月 発行)	Mitochondria are targets for geranylgeranylacetone-induced cardioprotection against ischemia-reperfusion in the rat heart.	高橋 尚彦	内科
13	European journal of clinical investigation 37(9) (19年9月 発行)	Pioglitazone shift circadian rhythm of blood pressure from non-dipper to dipper type in type 2 diabetes mellitus.	正木 孝幸	内科

計 13件

(様式第11)
2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
14	JOURNAL OF NEUROCHEMISTRY 103(3) (19年11月 発行)	Hypothalamic neuronal histamine mediates the thyrotropin-releasing hormone-induced suppression of food intake.	後藤 孔郎	内 科
15	European journal of endocrinology 157(3) (19年9月 発行)	Correlations of high-sensitivity C-reactive protein and atherosclerosis in Japanese type 2 diabetic patients.	正木 孝幸	内 科
16	HYPERTENSION RESEARCH 30(7) (19年7月 発行)	Measurement of the brachial-ankle pulse wave velocity and flow-mediated dilatation in young, healthy smokers.	油布 邦夫	内 科
17	JOURNAL OF MOLECULAR AND CELLULAR CARDIOLOGY 43(5) (19年11月 発行)	Hyperthermia treatment prevents angiotensin II-mediated atrial fibrosis and fibrillation via induction of heat-shock protein 72.	脇坂 収	内 科
18	Metabolism 56(10) (19年10月 発行)	Correlations between homocysteine levels and atherosclerosis in Japanese type 2 diabetic patients. Metabolism.	正木 孝幸	内 科
19	AMERICAN JOURNAL OF CHINESE MEDICINE 35(5) (19年9月 発行)	Chikuyou-sekkou-to, a traditional Chinese herbal medicine, modulates eating behavior and thermal response induced by tumor necrosis factor-alpha in rats.	千葉 政一	内 科
20	Circulation journal 71(11) (19年11月 発行)	Increased incidence of coronary in-stent restenosis in type 2 diabetic patients is related to elevated serum malondialdehyde-modified low-density lipoprotein.	高橋 尚彦	内 科
21	Metabolism 57(1) (20年1月 発行)	High-sensitivity C-reactive protein level is a significant risk factor for silent cerebral infarction in patients on hemodialysis.	正木 孝幸	内 科
22	Metabolism 57(2) (20年2月 発行)	Correlations of visceral fat accumulation and atherosclerosis in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	正木 孝幸	内 科
23	大分県医学会雑誌 26巻 (20年3月 発行)	救急外来にて偶然発見され、PRL同時産生腫瘍が疑われたlow GH acromegalyの1例	加隈 哲也	内 科
24	Journal of Microwave Surgery 25巻 (19年9月 発行)	手技の工夫(肝) RFAにおける人工腹水注入液の選択	清家 正隆	内 科
25	臨床心臓電気生理 30巻 (19年5月 発行)	通常型Slow-Fast AVNRTから稀有型Fast-Left Variant Slow AVNRTへの移行が認められ、標準的右側アブレーションで両Slow Pathwayの焼灼に成功した症例	高橋 尚彦	内 科
26	心電図 27巻 (19年9月 発行)	シロスタジールとベブリジルの併用が有用であった特発性心室細動の2例	高橋 尚彦	内 科

計 13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
27	Heart and vessels (19年11月 発行)	Sinus arrest caused by occlusion of the sinus node artery during percutaneous coronary intervention for lesions of the proximal right coronary artery.	神徳 宗紀	内科
28	The American journal of cardiology (19年6月 発行)	Incidental detection of cancers and other non-cardiac abnormalities on coronary multislice computed tomography.	河野 嘉之	内科
29	日本胸部臨床 (19年4月 発行)	日本胸部臨床(平成19年4月 発行)	白井 亮	内科
30	Neuropsychobiology (19年6月 発行)	Enhanced Suppression of Adrenocorticotrophic Hormone and Cortisol Responses to Hypothalamic-Pituitary-Adrenal Function and Thyrotropin-Releasing Hormone Tests after Stressful Life Events in Patients with Major Depressive Disorder	引地 孝俊	精神科
31	九州神経精神医学 (19年8月 発行)	不登校とひきこもりにおける不安抑制の治療戦略について	穠吉 條太郎	精神科
32	九州神経精神医学 (19年8月 発行)	抗精神病薬の処方パターンの現状 大分県における処方調査から	堤 隆	精神科
33	Neuropeptides (19年12月 発行)	Administration of antisense DNA for hepatocyte growth factor causes antidepressive and anxiogenic responses in rats	穠吉 條太郎	精神科
34	Stress and Health (19年12月 発行)	Type A behaviour pattern is associated with cynicism and low self-acceptance in medical students	寺尾 岳	精神科
35	Pediatric Infectious Disease Journal (19年8月 発行)	The characterization of cerebrospinal fluid and serum cytokines in patients with Kawasaki disease.	是松 聖悟	小児科
36	小児保健研究 (19年9月 発行)	音楽療法による小児気管支喘息と自律神経機能への影響。	是松 聖悟	小児科
37	Clinical Experimental Allergy (19年11月 発行)	Human gammadelta T cells modulate the mite allergen-specific T-helper type 2-skewed immunity.	是松 聖悟	小児科
38	Neuropediatrics (19年12月 発行)	Hypocarnitinemic Hypoglycemia and Heart Failure in an Infant with a Constant Parenteral Elementary Nutrition during Measles Vaccination-Related Febrile Illness.	岡成 和夫	小児科
39	Pediatrics International (19年12月 発行)	Hemophagocytic lymphohistiocytosis in a human immunodeficiency virus-positive homosexual high school student.	宮原 弘明	小児科

計 13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
40	International Journal of Hematology (20年2月 発行)	Indium-111 OXINE scintigram in children with cITP: clinical usefulness for indicating splenectomy.	末延 聰一	小児科
41	Pediatrics International (20年2月 発行)	Theophylline-associated seizures and their clinical characterizations.	是松 聖悟	小児科
42	Pediatrics International (20年2月 発行)	Efficacy of fluticasone metered-dose inhaler and dry powder inhaler for pediatric asthma.	宮原 弘明	小児科
43	Surg Neurol. Apr;67(4): 409-11, 2007 (19年4月 発行)	Difficulty in diagnosing a case with apparent sequel cerebral sparganosis	阿部 竜也	脳神経外科
44	Seizure Mar;16(2): 113-9, 2007 (19年5月 発行)	The relationship between paired pulse magnetic MEP and surgical prognosis in patients with intractable epilepsy.	上田 徹	脳神経外科
45	Neurosurgery Quarterly. March;17(1): 33-39, 2007. (19年5月 発行)	Navigated Brain Stimulation for Preoperative Anatomic and Functional Identification of Impaired Motor Cortex in a Patient With Meningioma.	藤木 稔	脳神経外科
46	Neurosurgery Quarterly. June;17(2): 98-100, 2007. (19年6月 発行)	Subarachnoid Hemorrhage Caused by an Internal Carotid Dolichoectasia With Posterior Fossa Anomaly.	肥川 誉慎	脳神経外科
47	Neurol Res. Mar;29(2): 199-203, 2007 (19年5月 発行)	Hippocampal Nogo-A and neo-Timm's staining in amygdala kindling rats.	上田 徹	脳神経外科
48	Surg Neurol. Sep;68(3): 317-21, 2007 (19年9月 発行)	Severe postoperative vasculitis of the central nervous system in a child with arteriovenous malformation: case report.	阿部 竜也	脳神経外科
49	Acta Neurochir (Wien). Oct;149(10):1081-1082, 2007 (19年10月 発行)	Spontaneous chronic head and spinal subdural haematoma.	森重 真毅	脳神経外科
50	Surg Neurol. Jul;68(1):99-102, 2007 (19年7月 発行)	Unique infiltrating morphology of a meningioma-a case report.	阿部 竜也	脳神経外科
51	Acta Neurochir (Wien). Aug;149(8):771-5, 2007 (19年8月 発行)	Overlapping free bone graft with galea-pericranium in reconstruction of the anterior skull base to prevent CSF leak and sequestrum formation	阿部 竜也	脳神経外科
52	Acta Neurol Scand. Dec;116(6):368-73, 2007 (19年12月 発行)	Nitric oxide synthase and NMDA receptor expressions in cavernoma tissues with epileptogenesis.	上田 徹	脳神経外科

計 13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
53	J Clin Neurosci. Dec;14: 1240-5, 2007 (19年12月 発行)	Neuroprotective and antiamnesic effect of donepezil, a nicotinic acetylcholine-receptor activator, on concussive mild traumatic brain injury in rats	藤木 稔	脳神経外科
54	Neurotraumatology 30: 15-20, 2007 (19年 発行)	Geranylgeranylacetone limits secondary injury, neuronal death, and progressive necrosis and cavitation after spinal cord injury.	藤木 稔	脳神経外科
55	Nat Cell Biol. Jan;10(1): 85-92, 2008 (19年12月 発行)	GEP100 links epidermal growth factor receptor signalling to Arf6 activation to induce breast cancer invasion.	森重 真毅	脳神経外科
56	European journal of neurology : the official journal of the European Federation of Neurological Societies (20年3月 発行)	Hyperhomocysteinaemia is a significant risk factor for white matter lesions in Japanese type 2 diabetic patients.	下村 剛	脳神経外科
57	大分県整形外科医誌 (19年11月 発行)	Total knee replacement for osteoarthritis of the knee with congenital dislocation of the patella.	熊木 光包	整形外科
58	日本骨・関節感染症学会雑誌 (19年12月 発行)	関節リウマチ症例に発症したMRSA敗血症によるseptic arthritisの1救命例	原 克利	整形外科
59	日本骨・関節感染症学会雑誌 (19年12月 発行)	Linezolidが有効であった寛骨臼回転骨切り術後MRSA感染症の1症例	加来 信広	整形外科
60	Hip Joint (19年10月発行)	股関節手術後の偽膜性腸炎	原 克利	整形外科
61	九州リウマチ (19年9月 発行)	下肢人工関節置換の術前に深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症が判明した症例の検討	原 克利	整形外科
62	Spine (20年1月 発行)	Kinematic analysis of the relationship between the grade of disc degeneration and motion unit of the cervical spine	宮崎 正志	整形外科
63	臨床眼科 (19年4月 発行)	ルテインサプリメントにより中心暗点が縮小したLeber病の1例.	大木 玲子	眼科
64	International Ophthalmology (19年4月 発行)	Vogt-Koyanagi-Harada disease in elderly Japanese patients.	木許 賢一	眼科
65	臨床眼科 (19年7月 発行)	眼軸に等しい長さの眼内異物.	河野 博文	眼科

計 13件

(様式第11)
2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
66	臨床眼科 (19年7月 発行)	後部強膜炎を合併した再発性多発軟骨炎の1例.	谷村真知子	眼 科
67	あたらしい眼科 (19年7月 発行)	プラスチック箸による眼窩内異物の小児例.	本村 由香	眼 科
68	眼科臨床医報 (19年7月 発行)	斜位近視における術前・術後の屈折値の変動.	古寺 紘美	眼 科
69	臨床眼科 (19年8月 発行)	うつ血乳頭で発見された硬膜動静脈瘻の1例.	本村 由香	眼 科
70	Clinical and Experimental Ophthalmology (19年8月 発行)	Two-step Oblique Incision during 25-gauge Vitrectomy Reduces Incidence of Postoperative Hypotony.	篠田 啓	眼 科
71	Clinical and Experimental Ophthalmology (19年8月 発行)	Early electroretinographic features of streptozotocin-induced diabetic retinopathy.	篠田 啓	眼 科
72	International Ophthalmology (19年8月 発行)	Primary conjunctival epithelial cyst of the orbit.	中塚 和夫	眼 科
73	臨床眼科 (19年9月 発行)	黄斑円孔術後早期に円孔が再開した1例.	調枝 聰治	眼 科
74	臨床眼科 (19年10月 発行)	不明熱を伴った眼トキソカラ症の1例.	池脇 淳子	眼 科
75	日本耳鼻咽喉科感染症研究会会報, 25(1), 79-83, 2007 (19年5月 発行)	小児深頸部膿瘍症例の検討	渡辺 哲生	耳鼻咽喉科
76	Auris Nasus Larynx, 34, 343-346, 2007 (19年6月 発行)	Clinical significance of elevated osteopontin levels in head and neck cancer patients,	衛藤 真由美	耳鼻咽喉科
77	耳鼻咽喉科臨床, 100(7), 519-523, 2007 (19年7月 発行)	濃厚血小板血漿を用いたコラーゲン膜による鼓膜穿孔閉鎖術	吉田和秀	耳鼻咽喉科
78	Acta Oto-Laryngologica, 127, 809-815, 2007 (19年9月 発行)	Local application of CpG oligodeoxynucleotide enhances nontypeable Haemophilus influenzae -specific mucosal IgA responses in the middle ear,	児玉 悟	耳鼻咽喉科

計 13件

(様式第11)
2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
79	Clin Exp Nephrol, 11, 258-259, 2007 (19年9月 発行)	Tonsillectomy as part of the treatment for IgA nephropathy: cooperation between nephrologists and otolaryngologists,	児玉 悟	耳鼻咽喉科
80	耳鼻咽喉科臨床, 100(9), 725-730, 2007 (19年9月 発行)	前頭洞囊胞30症例の検討 一術式と成績について一	児玉 悟	耳鼻咽喉科
81	日本気管食道科学会会報, 58(5), 472-477, 2007 (19年10月 発行)	気道確保における経皮的気管切開術と外科的気管切開術の比較検討 一耳鼻咽喉科医の観点から一,	平野 隆	耳鼻咽喉科
82	Head & Neck, 1128-1135, December 2007 (19年12月 発行)	Antibody responses to survivin and their clinical significance in patients with head and neck cancer,	衛藤 真由美	耳鼻咽喉科
83	Fertility and Sterility (20年3月 発行)	The production of vascular endothelial growth factor and metalloproteinase via protease-activated receptor in human endometrial stromal cells.	古川 雄一	産科婦人科
84	Oncology Reports (20年3月 発行)	K252a is highly effective in suppressing the growth of human endometrial cancer cells, but has little effect on normal human endometrial epithelial cells.	高井 教行	産科婦人科
85	International Journal of Molecular Medicine (20年1月 発行)	Histone deacetylase inhibitors induce growth inhibition, cell cycle arrest and apoptosis in human choriocarcinoma cells.	高井 教行	産科婦人科
86	American Journal of Reproductive Immunology (19年11月 発行)	The effects of platelet-activating factor on the secretion of interleukin-8 and growth-regulated oncogene alpha in human immortalized granulosa cell line (GC1a).	河野 康志	産科婦人科
87	European Journal of Obstetrics and Gynecology & Reproductive Biology (19年8月 発行)	Interleukin-13 stimulates the secretion of vascular endothelial growth factor and soluble fms-like tyrosine kinase-1 by human oviductal epithelial cells.	奈須 家栄	産科婦人科
88	Human Reproduction (19年4月 発行)	Collagen gel contractility is enhanced in human endometriotic stromal cells: a possible mechanism underlying the pathogenesis of endometriosis-associated fibrosis.	弓削 彰利	産科婦人科
89	American Journal of Physiology – Endocrinology & Metabolism (19年7月 発行)	Application of the nuclear factor-•B inhibitor BAY 11-7085 for the treatment of endometriosis: an in vitro study.	奈須 家栄	産科婦人科
90	エンドメトリオージス研究会会誌 (19年7月 発行)	子宮内膜症の瘢痕形成のmechanismに関するin vitroでの検討	弓削 彰利	産科婦人科
91	エンドメトリオージス研究会会誌 (19年7月 発行)	子宮内膜症・子宮腺筋症の発症・増殖に関する分子生物学的検討 子宮内膜症に対する治療薬としての選択的nuclear factor- κ B阻害剤BAY 11-7085の有用性	奈須 家栄	産科婦人科

計 13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
92	大分県医学会雑誌 (20年3月 発行)	自律神経温存広汎子宮全摘術後の膀胱機能についての検討	奈須 家栄	産科婦人科
93	Clinical Radiology (19年4月 発行)	Inferior mesenteric veno-caval shunt: imaging features and interventional treatment.	松本 俊郎	放射線科
94	Radiation Medicine (19年5月 発行)	Extrapancreatic neural plexus invasion by carcinomas of the pancreatic head region: evaluation using thin-section helical CT.	森 宣	放射線科
95	Journal of Computer Assisted Tomography (19年5月 発行)	Pulmonary Computed Tomography Findings of Visceral Larva Migrans Caused by Ascaris suum.	岡田 文人	放射線科
96	Abdominal Imaging (19年6月 発行)	Anatomical variations of peripancreatic veins and their intrapancreatic tributaries: multidetector-row CT scanning.	本郷 哲央	放射線科
97	CHEST (19年12月 発行)	Clinical / Pathologic Correlations in 553 Patients with Primary Centrilobular Findings on High-Resolution CT Scan of the Thorax.	岡田 文人	放射線科
98	Journal of Neuroendovascular Therapy (19年12月 発行)	4.3Frガイドイングシースシステムを用いた脳血管内治療	堀 雄三	放射線科
99	麻酔56:1091-1193, 2007. (19年7月 発行)	続発性副甲状腺機能亢進症が筋弛緩薬に対する抵抗性の一因と疑われた慢性腎不全の1症例	吉良慎一郎	麻酔科
100	麻酔57: 167-170, 2007. (20年1月 発行)	気道確保困難の乳児に対して抜管時の安全のため endotracheal tube changerを用いて気道を維持した一症例.	吉良慎一郎	麻酔科
101	Journal of Anesthesia. 21: 164-170, 2007. (19年4月 発行)	Nafamostat mesilate inhibit the expression HMGB1 in lipopolysaccharaid-induced acute lung injury.	萩原 聰	麻酔科
102	Shock 27:429-435, 2007 (19年4月 発行)	Nafamostat mesilate inhibit HMGB1 by LPS stimulation in moraine macrophage RAW264.7.	萩原 聰	麻酔科
103	J Clinical Anesthesia. 19:523-529, 2007. (19年9月 発行)	The effect of Landiolol on hemodynamics and left ventricular function in patients with coronary artery disease.	後藤 孝治	麻酔科
104	Journal of Anesthesia 21: 424-428, 2007. (19年8月 発行)	Anesthetic management of laparoscopic adjustable gastric banding in Japanese patients with morbid obesity.	吉良慎一郎	麻酔科

計 13件

(様式第11)
2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
105	Toxicology 17;263:19 9-207 (19年7月 発行)	Introduction of antisense oligonucleotides to heat shock protein 47 prevents pulmonary fibrosis in lipopolysaccharide-induced pneumopathy of the rat.	萩原 聰	麻酔科
106	Toxicology 236:199- 207, 207. (19年7月 発行)	An antisense oligonucleotide to HSP47 inhibits Paraquat-induced pulmonary fibrosis in rats.	萩原 聰	麻酔科
107	Lung 185:287-293, 2007. (19年9月 発行) Epub ahead (19年7月 発行)	Association between heat stress protein 70 induction and decreased pulmonary fibrosis in an animal model of acute lung injury.	萩原 聰	麻酔科
108	Laser Surg Med 14:797-802, 2007. (19年12月 発行)	GaAlAs (830nm) low-level laser enhances peripheral endogenous opioid analgesia in rats.	萩原 聰	麻酔科
109	臨床と微生物 35: 199-203, 2008. (20年1月 発行)	持続的血液濾過透析(CHDF)施行患者におけるdripemの体内動態。	日高 正剛	麻酔科
110	Intensive Care Medicine 34: 361-7, 2008. (20年2月 発行) Epub ahead	High dose antithrombine III inhibits HMGB1 and improves endotoxine-induced acute lung injury in rats.	萩原 聰	麻酔科
111	Journal of Anesthesia 22:27-31, 2008. (20年1月 発行) Epub ahead (20年1月 発行)	Olprinone decreases elevated concentrations of cytokine-induced neutrophil chemoattractant-1 in septic rats.	宮川 博司	麻酔科
112	Epub ahead (20年3月 発行)	Comparison of effects of total enteral versus total parenteral nutrition on ischemia-reperfusion-induced heart injury in rats.	萩原 聰	麻酔科
113	Journal of Surgical Research. 145:251-6, 2008 (20年1月 発行)	Effects of enteral versus parenteral nutrition on LPS-induced sepsis in a rat model.	萩原 聰	麻酔科
114	Shock. 2008 Epub ahead (20年1月 発行)	Effects of enteral versus parenteral nutrition on inflammation and cardiac function endotoxine-induced sepsis in a rat model.	萩原 聰	麻酔科
115	The Journal of Clinical Pharmacology vol.47 No.7 (19年7月 発行)	Effect of the Treatment Period With Erythromycin on Cytochrome P450 3A Activity in Humans	奥平 敏章	内 科
116	日本口蓋裂学会雑誌 (19年4月 発行)	大分県における過去10年間の口唇・口蓋裂児の出現頻度	佐伯 真紀	歯科口腔 外科
117	頭頸部癌 (19年10月 発行)	下顎歯肉扁平上皮癌の顎骨浸潤に対するパノラマX線写真の診断精度	河野 憲司	歯科口腔 外科

計 13件

(様式第11)
2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
118	Alimentary Pharmacology and Therapeutics. (19年5月 発行)	Rabeprazole-based eradication therapy for Helicobacter pylori: a large-scale study in Japan.	藤岡 利生	内科
119	Carcinogenesis, (19年12月 発行)	Protective role of 17{beta}-estradiol against the development of Helicobacter pylori-induced gastric cancer in INS-GAS mice.	渡邊 浩一郎	内科
120	Carcinogenesis, (19年12月 発行)	Cytokine mediated rapid reversal of epithelial invasion in a mouse model of microbially-induced colon carcinoma.	渡邊 浩一郎	内科
121	Journal of Gastroenterol and Hepatol. (19年11月 発行)	Modified allele-specific primer-polymerase chain reaction method for analysis of susceptibility of Helicobacter pylori strains to clarithromycin.	村上 和成	内科
122	Journal of Clinical Microbiol. (19年12月 発行)	Changing antimicrobial susceptibility epidemiology of Helicobacter pylori strains in Japan between 2002 and 2005.	村上 和成	内科
123	日本消化器病学会誌 2007年 104巻 5号 (19年8月 発行)	食道つかえ感にて発症し、食道から小腸に広範な病変を認めた好酸球性胃腸炎の1例	平島 詳典	内科
124	日本内科学会雑誌 (19年11月 発行)	肝門部胆管癌との鑑別を要した自己免疫性膵炎合併硬化性胆管炎の1例	兒玉 雅明	内科
125	Journal of Clinical Gastroenterol (20年2月 発行)	Evaluation of three different proton pump inhibitors with amoxicillin and metronidazole in retreatment for Helicobacter pylori infection.	村上 和成	内科
126	Modern Pathology (20年2月 発行)	Human intestinal spirochetosis in japan; its incidence, clinicopathologic features, and tenotypic identification	棚橋 仁	内科
127	Bone Marrow Transplantation (20年2月 発行)	Plasma HHV-6 viral load-guided preemptive therapy against HHV-6 encephalopathy after allogeneic stem cell transplantation: a prospective evaluation.	緒方 正男	輸血部
128	Internal Medicine (19年6月 発行)	Invasive Pulmonary Aspergillosis with Hematological Malignancy Caused by Aspergillus terreus and in vitro Susceptibility of A. terreus Isolate to Micafungin	時松 一成	輸血部
129	Journal of Health Science (19年5月 発行)	Bushi-richu-to raises calcitonin gene-related peptide, substance P, somatostatin, and vasoactive intestinal polypeptides levels in human plasma.	佐藤 雄己	薬剤部
130	医療薬学 (19年9月 発行)	リスク回避を目的とした入院時持参薬チェックシステムの構築	遠原 大地	薬剤部

計 13件

(様式第11)
2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
131	Carcinogenesis (19年12月 発行)	Rapid reversal of interleukin-6-dependent epithelial invasion in a mouse model of microbially induced colon carcinoma.	渡邊浩一郎	内 科
132	Cancer Lett. (20年3月 発行)	Importance of UDP-glucuronosyltransferase 1A1*6 for irinotecan toxicities in Japanese cancer patients.	白尾 國昭	内 科
133	Int J Cancer. (20年3月 発行)	Synergistic antitumor activity of the novel SN-38-incorporating polymeric micelles, NK012, combined with 5-fluorouracil in a mouse model of colorectal cancer, as compared with that of irinotecan plus 5-fluorouracil.	白尾 國昭	内 科
134	Eur J Cancer. (20年2月 発行)	Combination of O6-methylguanine-DNA methyltransferase and thymidylate synthase for the prediction of fluoropyrimidine efficacy.	白尾 國昭	内 科
135	Drug Metab Pharmacokinet. (19年12月 発行)	Genetic variations and frequencies of major haplotypes in SLCO1B1 encoding the transporter OATP1B1 in Japanese subjects: SLCO1B1*17 is more prevalent than *15.	白尾 國昭	内 科
136	Drug Metab Dispos. (19年10月 発行)	Haplotypes and a novel defective allele of CES2 found in a Japanese population.	白尾 國昭	内 科
137	Gan To Kagaku Ryoho. (19年10月 発行)	Neoadjuvant therapy for esophageal cancer - indication and efficacy]	白尾 國昭	内 科
138	British Journal of Cancer (20年2月 発行)	Impacts of excision repair cross-complementing gene 1(ERCC1),dihydropyrimidine dehydrogenase, and epidermal growth factor receptor on the outcomes of patients with advanced gastric cancer	白尾 國昭	内 科

計 8件
合計138件

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 古林秀則			
管理担当者氏名	総務課長 阿部文生 病院企画室長 石橋龍二 薬剤部長 武山正治 医療安全管理部長 鈴木正志	医事課長 砂山富恵 放射線部長 森宣 研究・社会連携課長 永田恒久		

		保管場所	分類方法
診療に関する 諸記録	病院日誌、各科診療日誌 処方せん 手術記録、看護記録、検査所見 記録 エックス線写真 紹介状、退院した患者に係る入 院期間中の診療経過の要約及び 入院診療計画書	各診療科 薬剤部 医事課 放射線部 医事課	カルテ等病歴資料は、外来・入 院別に一患者一ファイル方式で、 コンピューターによる集中管理 を行っている。 また、エックス線写真は、放射 線部において一患者一ファイル で管理を行っており、共に永久保 存を原則としている。
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評 価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の 実績 入院患者数、外来患者及び調 剤の数を明らかにする帳簿	総務課 医事課 研究・社会連携課 病院企画室 総務課 総務課 医事課 医事課及 び薬剤部	
規 則 第 9 条 の 2 3 及 び 第 1 1 条 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の 状 況	専任の医療に係る安全管理 を行う者の配置状況 専任の院内感染対策を行 う者の配置状況 医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況 当該病院内に患者からの 安全管理に係る相談に適切 に応じる体制の確保状況 医療に係る安全管理のた めの指針の整備状況 医療に係る安全管理のた めの委員会の開催状況 医療に係る安全管理のた めの職員研修の実施状況 医療機関内における事故 報告等の医療に係る安全の 確保を目的とした改善のた めの方策の状況	総務課 総務課 医事課 医事課 医事課 医事課 医事課 医事課 医事課 医事課 (医療安全管理部)	医療事故報告の記録について は統計処理が行えるよう、データ化 して保管している

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	感染症報告の記録については、医療情報管理システムに保管している
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医事課 (感染制御部)	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課	保守点検に関する書類は装置ごと、他は年度ごとにファイルしている。 また、院内の各端末からアクセスできる医療機器安全管理システムを用いて各情報の登録・閲覧・周知の院内統一管理を可能としている。
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理専門委員会	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理専門委員会	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療機器安全管理専門委員会	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学・病院事務部長
閲覧担当者氏名	総務課長
閲覧の求めに応じる場所	管理棟第2会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延 0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	62.9%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数 B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数 C：救急用自動車によって搬入された患者の数 D：初診の患者の数	7,367人 5,677人 282人 15,508人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(2)名 兼任(14)名 ・ 活動の主な内容： メディカル・リスクマネジメント委員会が有効に機能するよう具体的な提案事項等の作成、 その他委員会の庶務 インシデント報告を分析し、 その結果を委員会に報告すること及び現場へのフィードバック 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認と必要な指導 事故等について、 患者や家族への説明などその発生時の対応状況について確認と必要な指導 事故等について、 その原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導 医療内容についての相談等、 医療安全に係る連絡調整、 医療安全管理に関する職員研修の企画・運営、 医療安全対策の推進 	
④ 当該病院内から患者の安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のため指針の整備状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 医療安全管理に関する基本的考え方、 医療安全管理に係る体制確保のための組織等、 医療安全管理に係る職員の教育・研修、 医療事故発生時の対応、 医療事故等の報告及び改善策の立案、 当該指針の閲覧、 患者相談に関する方針等 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 医療安全管理指針及び医療安全管理マニュアルの策定及び見直し、 医療事故の判定、 医療安全管理に関する改善策、 医療安全管理のための職員研修、 医事紛争、 その他医療安全管理上の重要事項の審議 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 医療安全マニュアルの改訂について、 インスリンの適切な使用方法、 看護及び医療補助者研修、 身体疾患に生じるせん妄の実践的対処法 など 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 ・ その他の改善の方策の主な内容： ポケット版マニュアルに掲載し、 研修会で説明を行う。各部署リスクマネージャーから指導を行う。今後も院内ラウンドで定期的に周知状況の検証を行い、 報告実施の徹底を啓発する。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容：院内感染に対する基本的考え方、院内感染対策のための委員会およびその他組織に関する基本的事項、院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本の方針、感染症の発生状況の報告に関する基本方針、院内感染発生時の対応に関する基本方針、患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針、その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： 感染予防対策の確立、感染予防の実施、監視及び指導、感染源の調査、感染予防対策に関する情報の収集等 	
③ 従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：サイトビジットでの指摘事項と対策実施状況について、アウトブレイクを防ごう！ノロウイルス対策、消化管外科における感染予防対策、看護及び医療補助者研修(感染)、カビが人間を襲う 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善ための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無 その他の改善のための方策の主な内容：〔マニュアルの周知方法〕病院運営委員会、病院連絡会、HP の更新、感染制御部ニュース、看護師長会議、感染制御部リンクナース会議 〔その他院内感染対策重要情報についての職員への周知徹底・啓発〕感染制御部ニュースの配布、看護師長会議および感染制御部リンクナース会議での伝達、感染制御部セミナー、病院運営委員会、病院連絡会 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容 医薬品の安全使用に向けて 医療安全管理マニュアルの改訂について 医薬品の取り扱いについて インスリンの適切な使用方法	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有)・無)業務の主な内容 平成 20 年 7 月に実施し、確認内容を保管記録している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)その他の改善のための方策の主な内容： 得られた情報のうち必要なものについて医薬品を取り扱う職員に対して周知する。 DIニュース（月 1 回発行）、薬剤部便り（月 1 回発行）、その他必要に応じて通知文書として配布	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 27 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容 人工呼吸器勉強会, AED 勉強会, 除細動器勉強会, 人工心肺装置勉強会, 透析装置勉強会, 輸液・シリンジポンプ勉強会, IABP 勉強会, PCPS 勉強会, 超音波診断装置勉強会 看護部 ME 研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有)・無)保守点検の主な内容 : 血液浄化装置や保育器のようにメーカーだけで実施している機器もあるが, 人工心肺装置, 補助循環装置, 人工呼吸器, 除細動器はMEセンターにて臨床工学技士が実施している。 また, 放射線機器については, 放射線技師が実施している。 (始業・終業点検、安全・動作確認等日常点検、出力測定、漏洩線量測定など)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無)その他の改善の方策の主な内容 : 医療機器安全管理システムを用いた添付文書及び安全情報の周知, 安全管理セミナー(医療機器)での情報提供, 装置ごとに故障・修理記録, 点検事項や添付文書をファイルし, 閲覧による担当者への周知を行っている	